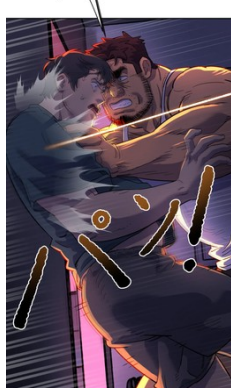
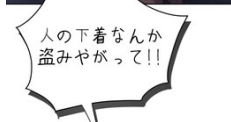
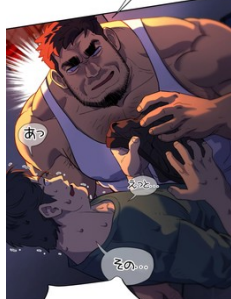
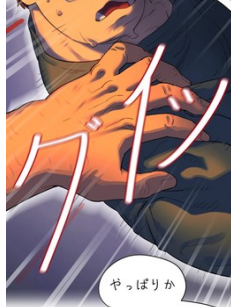




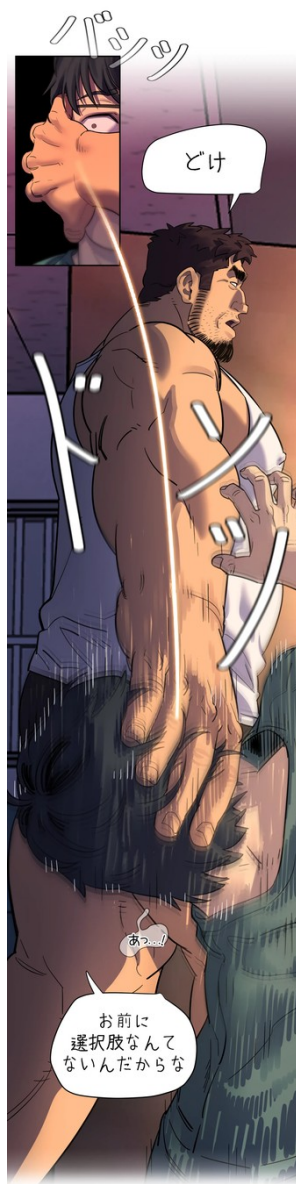
お前
だったのか？

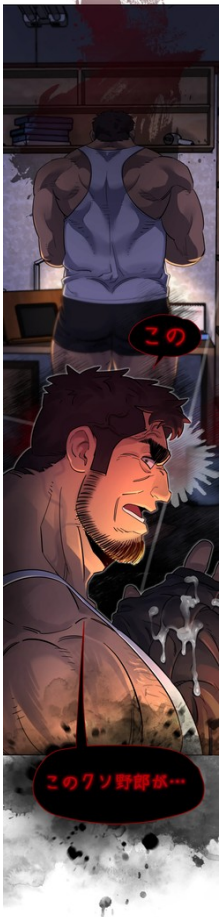


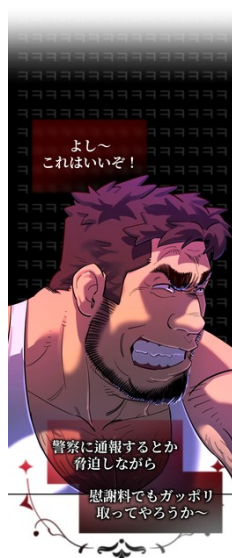












10万円ぐらいが
ちょうど
いいかな



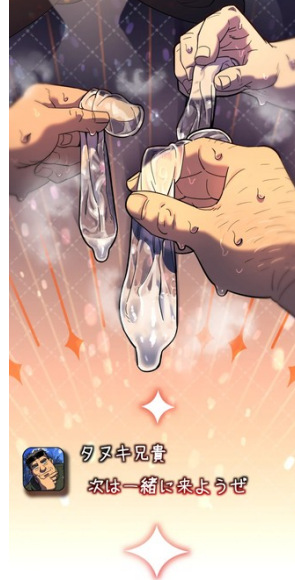
ん？



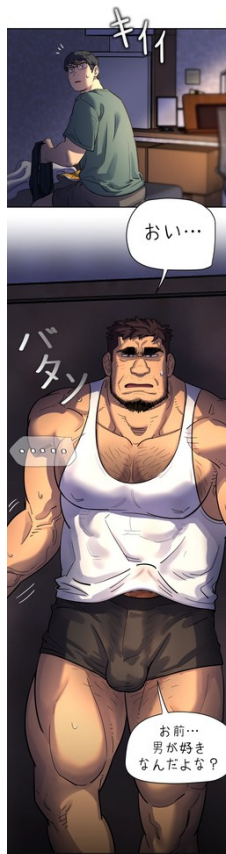
タヌキ兄貴
家で何やってるんだ？



タヌキ兄貴
お金貯めておけよ



タヌキ兄貴
次は一緒に来ようぜ



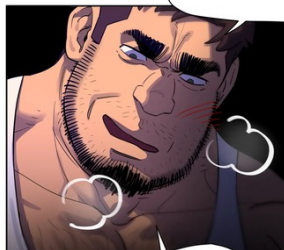




おいおい…
お前…
マジで変態だな

お前がオナニーした
俺の下着

お前にやるよ

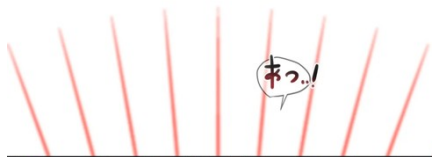


そして
下着のことは
誰にも
言わないから

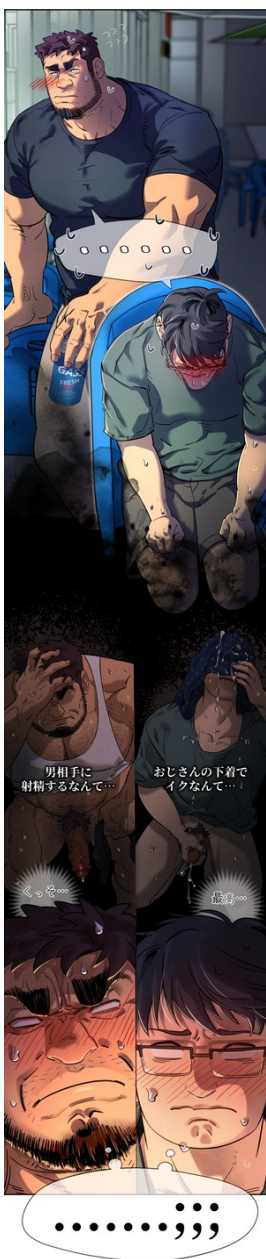
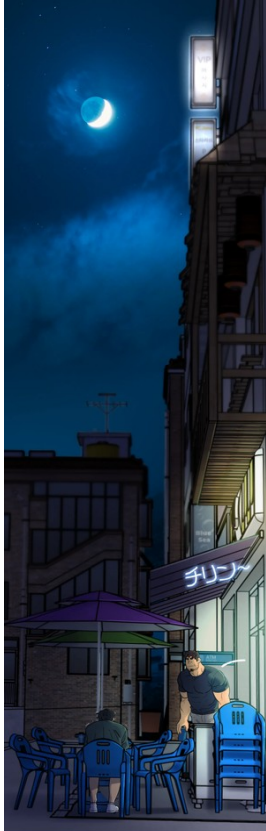




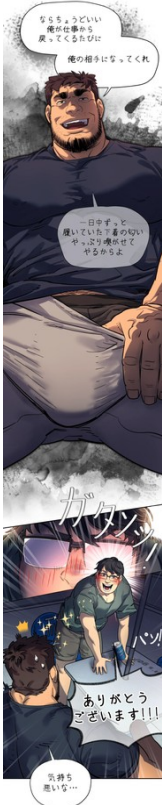


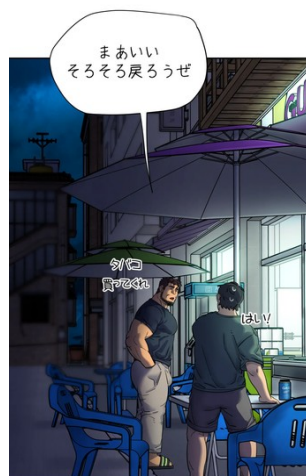


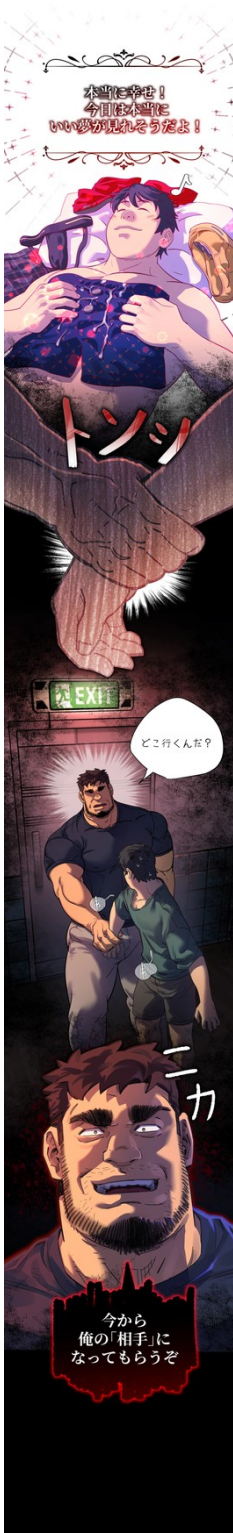












お前
だったのか？

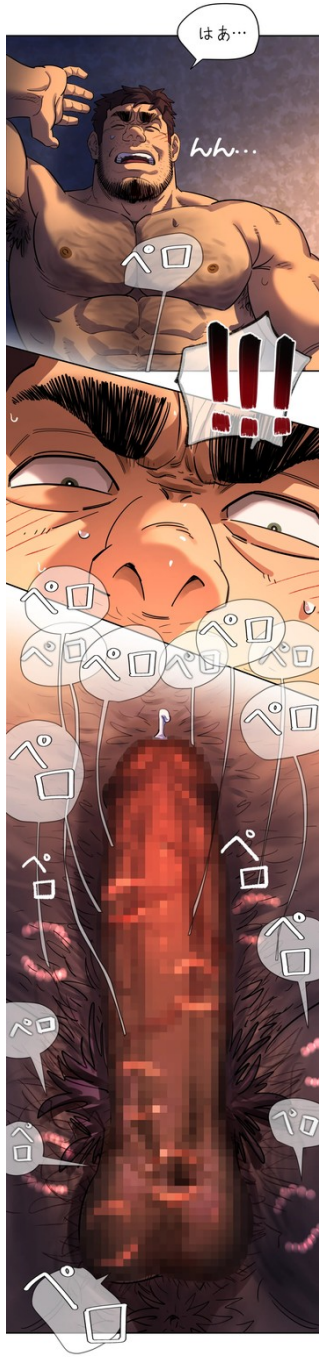


約20分後…

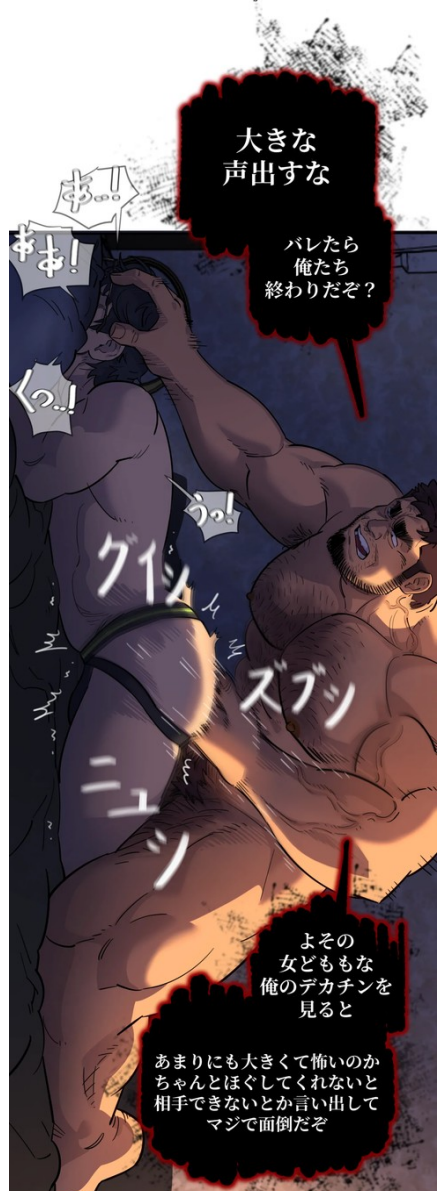










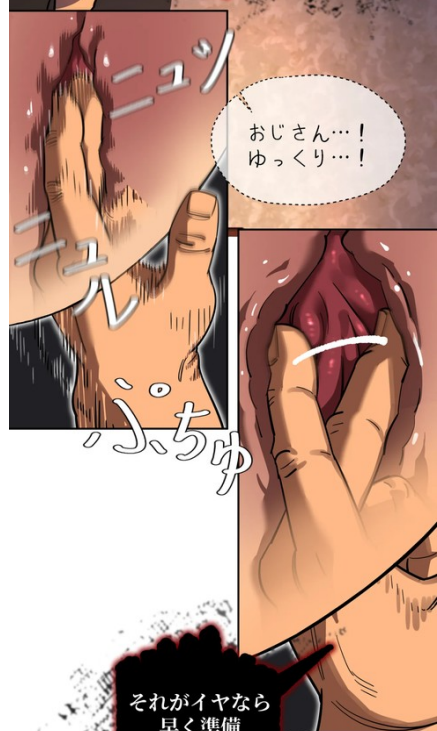


大きな
声出すな

バレたら
俺たち
終わりだぞ？

よその
女どももな
俺のデカチンを
見ると

あまりにも大きくて怖いのか
ちゃんとほぐしてくれないと
相手できないとか言い出して
マジで面倒だぞ



おじさん…！
ゆっくり…！

それがイヤなら
早く準備
済ませろよ
お前の体だろ？

はうっ…！

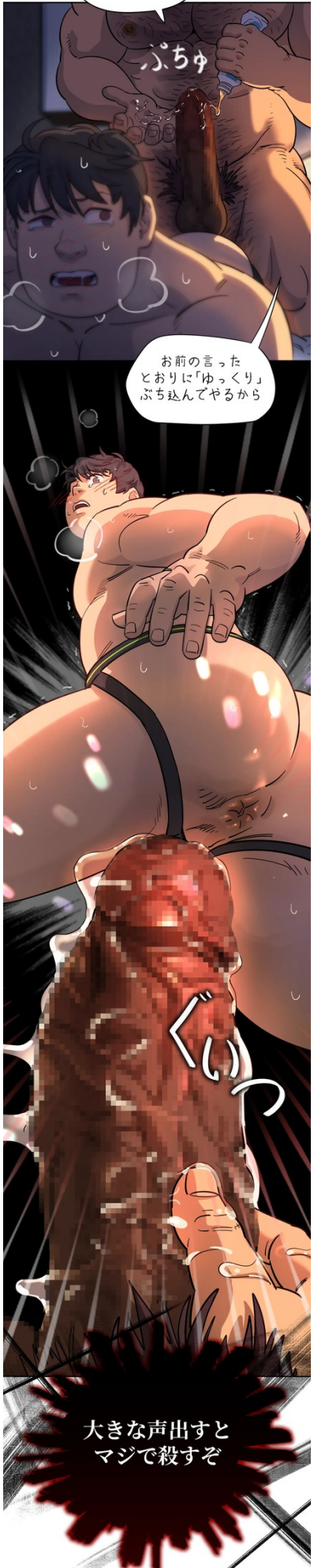
よし
これで
いいんだな？

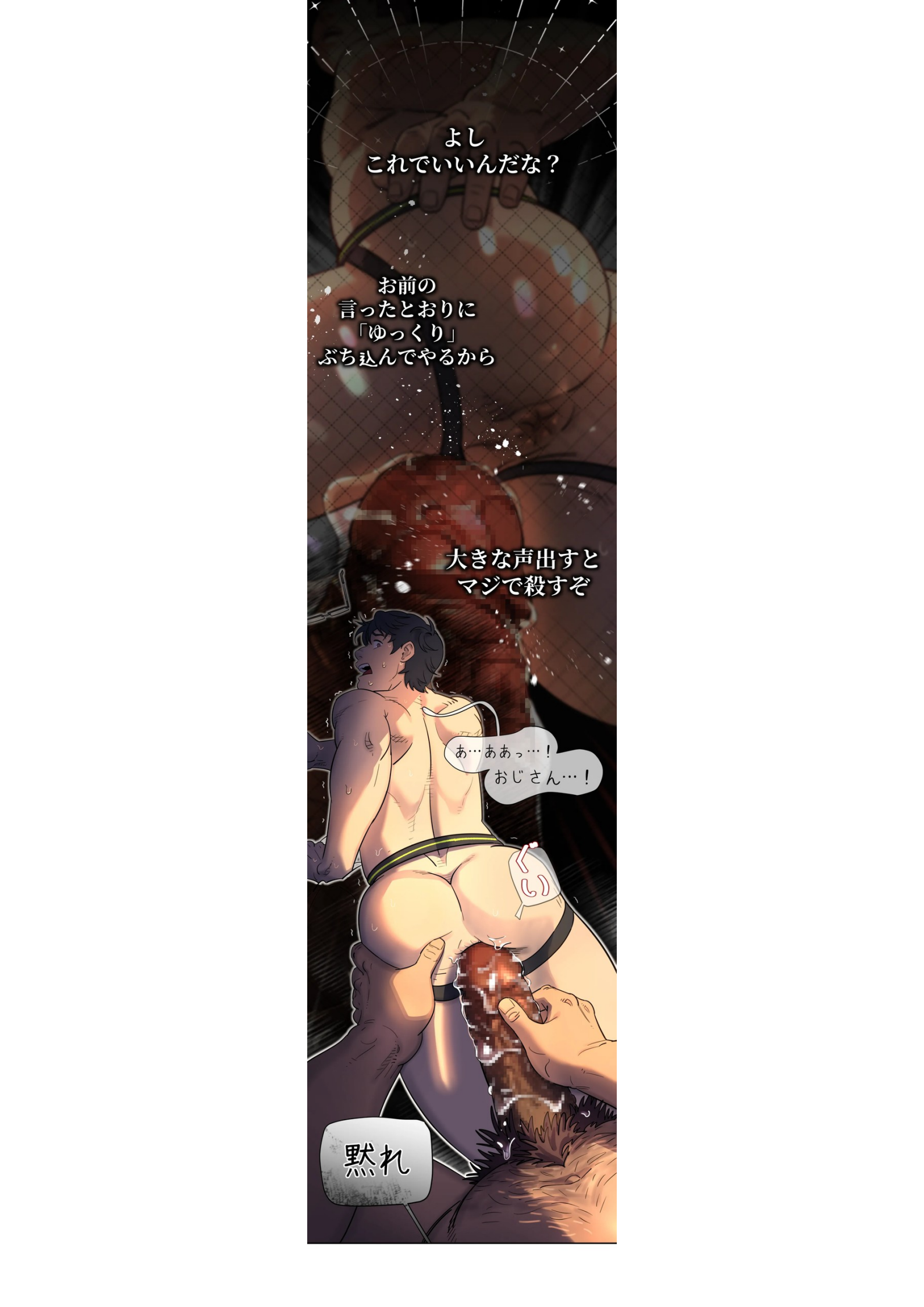
ぶちゅ

お前の言った
とおりに「ゆっくり」
ぶち込んでやるから

ぐいっ

大きな声出すと
マジで殺すぞ





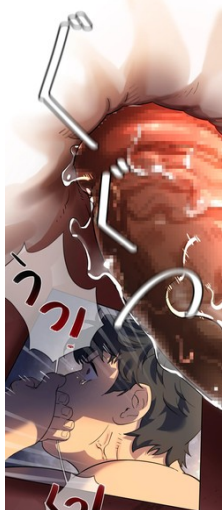
よし
これでいいんだな？

お前の
言ったとおりに
「ゆっくり」
ぶち込んでやるから

大きな声出すと
マジで殺すぞ

あ…あぁっ…！
おじさん…！

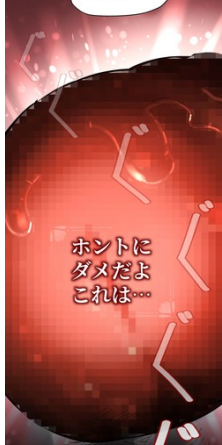
黙れ



はあああ...
くっぞ...



ダメだよ...!



今まで...
こんなモノは
見たことが
ないんだよ...!



*今まで3人しか
会ってない













おかしい...

アナルが
すごく
痛いのに...

気持ちいい...

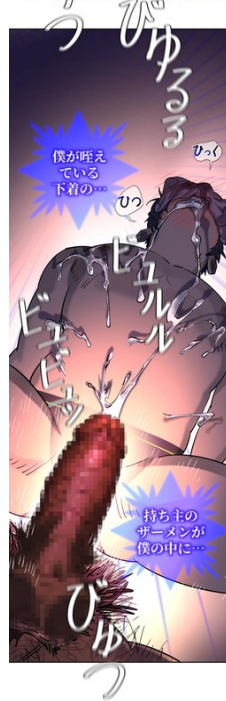
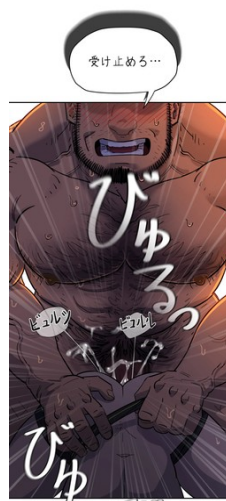
この妙な感覚は
いったいなに...?

おじさん...
すぐ終わらせると
言ってたくせに

ぐっ

ふちゅ

もう20分は
ヤッてるみたい...





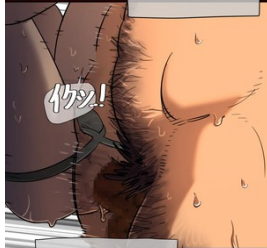


お前
だったのか？

おじさんは…



毎日のように
僕を「オナホ」として
使ってくれた



イクッ!

履いていた下着も
何枚かもらったし…



週末には一日に
何度もやられて…

このままだと
本当にまずいん
じゃないかと
思うほどだった



幸せの海に
溺れて我を
失いかけている
日々が続く…

僕はその代価を
たっぷり
入れられたまま

はあ

はあ



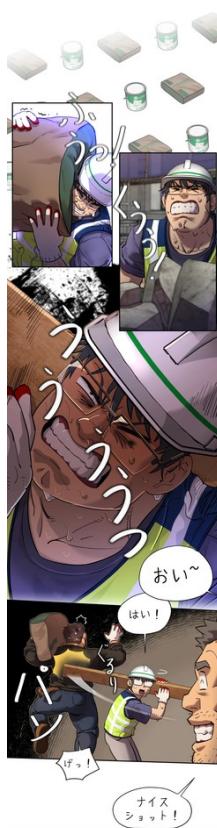
疲れて眠りに
ついてしまった



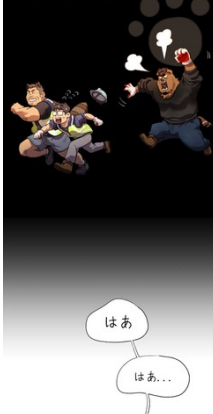








お前だった
のか?







頑張って
仕事をしてると...



ずっと
頭に中に
思い浮かぶ...

お前って
ホコカ鼻面白だよわー

君はそれを
成功すると
思うか

思い出し
たくない
記憶を...

あんなに
信じてるのに...

不合格
言われるが
ままだに
仕事をして

頑張っていると...

少しでも
忘れることが
できる

疲れて倒れて
しまいそうに
なっても

足が震えるほど
資材を担いでも





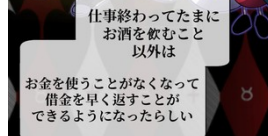




いつの間にか
半年が過ぎた



おじさんは
兄貴って呼べ
...兄貴は
借金を全部
返すことが
できた



現場で仕事してる
人々とジムに通う
ようになってから...

なんというか...





カチャ



ちょっと元気になってっいうか…

おい
ヘンタイ君

どういふつもりだ？
人をこんな場所に
呼び出すなんて

ムラムラして
きたじゃないか

あぁ…今のはナシ…
もともと
元気だったから…

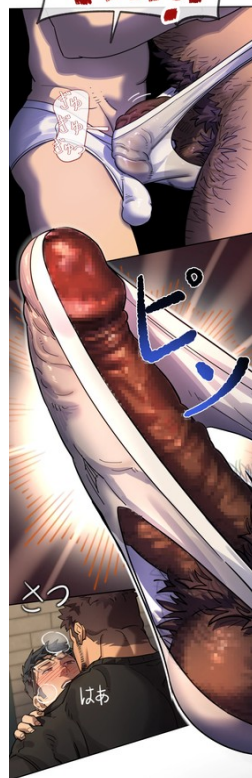
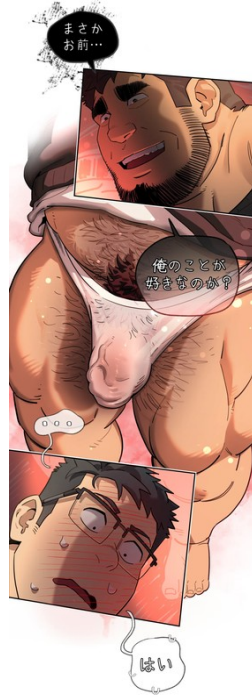


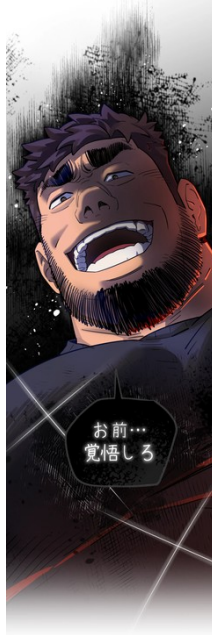




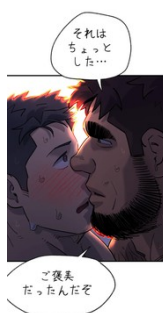
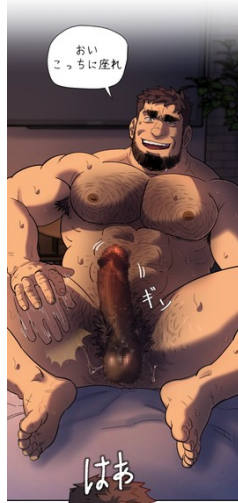


オナホのくせに
調子に乗るん
じゃねーぞ
この変態野郎



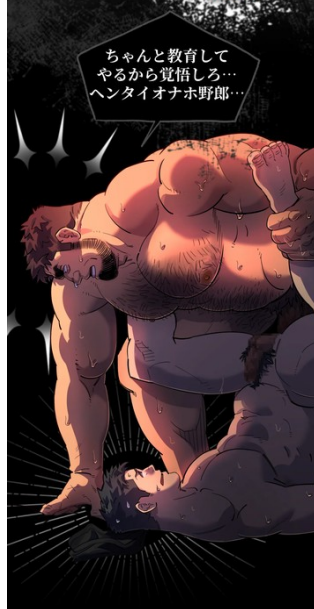
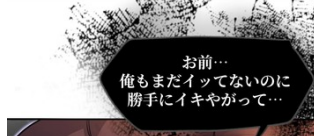














お前...

俺もまだ
イって
ないのに

勝手に
イキやがって...

俺が...

まだ

許して
ないのに

くっそ...

最初は...

中に出すぞ!

あっ!

あっ!

ぐわ!

ぐわ!

びゅる

びゅる

びゅる

びゅる

びゅる

びゅる

ああ...
感じる...

兄貴の...

ガーム...









数日後



でも...







中村？

グッ
グッ

中村の野郎から
探してるのを見
るとお前やっぱり
中村専用のオナホ
だったんだな

あいつ
何も言わ
なかったのか？

あいつはここに
来ないよ

俺たちだけだ

シュー
シュー



ブウ

ブウ

ブウ

あきらめる〜

今ごろアイツも
「いい時間」を
送ってるはずだから

ブウ
ブウ

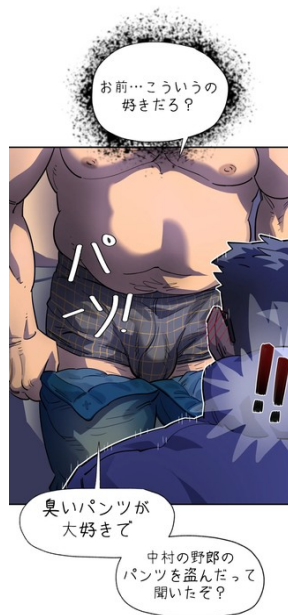
邪魔しちゃ
悪いだろ？

ブウ











僕は…
本当に…

はあ
はあ

ギン
ギン

どうか
してるのかな…?

そうだ

中村のヤツには
3人でやるって
言ったけど

こいつ ホント
衰れなヤツなんだ

言葉も通じない
ところで真面目に
働いてるのに～

まだ30才だってよ

ひくっ

30才なのに
女もないなんて
可哀そうだろう?

もうギンギン
勃ってるし



これじゃ
いつ終わるんだか...



夜はこれから
だけど...



うわっ...
最っ高...

さすが野郎が
使っていた
モノものだな

すんなり一気に入るとは...





楽しませて
もらうぞ!

あつ!

あつ!

うあつ!

所長...

やめて
ください...

あれ?

俺のT-タイ
どこいった?

さっき
こ胸はてる
どまに持っ
てきたん
です!
忘れちゃ
ダメです
から

こん野郎!

まったく...
ホント可愛いんだから!
あとで俺がご褒美を
してやるから期待しろ!

はははは!
ぐずぐずしたいぞよ!

ホントに
...

名器だな
見直したぜ



おおおおお！

チンボ入った

どうだ？
野郎の
ロマOコは？



イっちゃっ
たのか？

そんなに気持ちいいのか？
お前 いつも以上に
早くイっちゃったような…



アイツ

淫力薬でも
飲ませて
あげないとな





そう...
いいぞ

止まったら本気で
殴るから覚悟しろ
いいな？